

1. はじめに

足立西高校は東京の北東部に位置し、日暮里から舎人ライナーという珍しい乗り物で12分程の江北駅から徒歩7分の住宅地の中にある、穏やかな雰囲気を持つ全日制普通科17クラスの比較的規模の小さな都立高校です。

3つのステップアップ（学カアップ・マナーアップ・ウイリアップ）を合言葉に、生徒はそれぞれの多様な進路希望の実現を目指して楽しい学校生活を送っています。また、地域との関係を大切に考え、生徒会や部活動を中心にボランティア活動や地域交流活動を盛んに行っています。あまり大きな特色はありませんが、昨年度より世界自然遺産であり南方1000キロ先の太平洋上に位置する小笠原父島への修学旅行を実施しています。片道24時間の船旅のハードルを越えなければなりません。参加した生徒は都内でも珍しい「小笠原に行ったことのある人」となり超レアで貴重な経験と大きな満足を得ています。生活者の視点でも非日常の重要な体験の機会となっています。

家庭科については「家庭総合」を2年生3年生で2単位ずつ履修し、「フードデザイン」と「子どもの発達と保育」「服飾手芸」の自由選択科目が3年生で開講されています。家庭科系の部活動としては「ハンドメイキング部」があり、調理系を中心に活動しています。余談ですが、現校長は全国でも珍しい

（たぶん唯一の）
 <家庭科籍の男性の校長>で、家庭科や学校家庭クラブ活動の発展のために活動しています。



学校風景

2. 本校家庭クラブ活動

家庭クラブは家庭科を履修している2年生、3年生の家庭科系の選択授業を履修している生徒、そしてハンドメイキング部を中心に活動しています。家庭クラブ活動に取り組み始めて日が浅いため、伝統的に継続して活動されている学校とは比べものになりませんが、今できる事ことを少しずつ増やし、無理なく行える活動の範囲を拡大しています。ボランティア活動や交流活動が主な取り組み内容ですが、地域からの期待・要請も年々増えています。生徒達は意欲的に取り組み、活動を楽しみながら、先輩から後輩へとバトンを受け継ぎ活動の輪を広げているところです。

月	活動の内容
6月	学校家庭クラブ週間 朝食コンテスト『元気になる朝食』 保健センター栄養士による調理講習参加
7月	指導者養成講座受講、運営ボランティア参加
8月	全国高等学校家庭クラブ研究発表大会参加 東京都高等学校家庭クラブ連盟 総会・交流セミナー参加 「FHJ 料理コンクール」への取り組み
9月	文化祭での展示、焼き菓子販売 東日本大震災義援金募金活動
10月	地域のお祭りに参加（焼き菓子販売）
11月	足立区女性フェスティバルボランティア 専門学校生が教える小中学生のための クラフト教室アシスタント
12月	専門学校生が教える小中学生のための クラフト教室アシスタント 東京都高等学校家庭クラブ連盟 研究発表会参加 歳末助け合い募金活動
2月	専門学校生が教える小中学生のための クラフト教室アシスタント
3月	足立区フェスティバル参加（焼き菓子販売） 子ども料理教室ボランティア

3. 活動紹介

(1) 学校家庭クラブ週間

①朝食コンテスト

食育月間である6月に、学校家庭クラブ主催の朝食コンテストを行いました。主食主菜副菜がそろい、色取りの良い朝食を考えて、『元気になる朝食』をスローガンに取り組みました。今回は、初めての企画だったので、各教室にコンテストの手作りポスターを掲示し、家庭クラブ活動のPRも兼ねました。



最優秀賞

フレンチトースト
 ウィナー
 サラダ
 スムージー



優秀賞

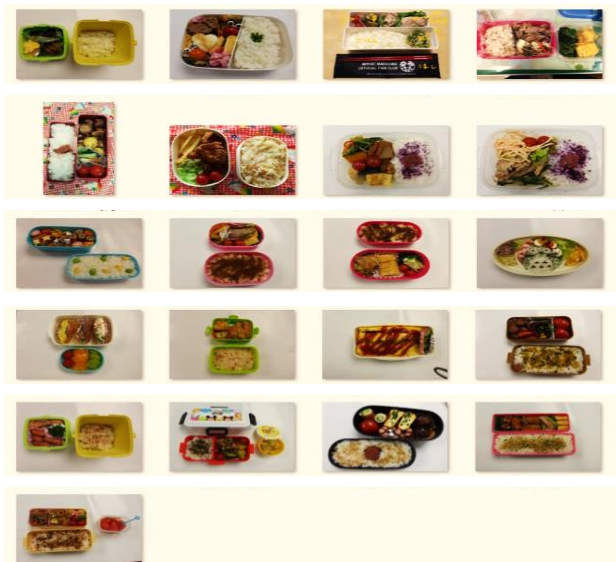
ミネストローネ
 鶏肉のサラダ
 スクランブルエッグ
 バターロール

自作の手作り朝食に限定するとハードルが高く、参加者が少ない事が予測されたので、今回は、自分の朝食の写真を撮り、そのアピール文と共に応募する形をとりました。栄養バランス、見た目の彩り、盛り付け等を写真と朝食 PR の文章で判断し、上位者を終業式で表彰しました。

②お弁当コンテスト

家庭クラブ主催校内お弁当コンクールが行われました。今回のテーマは、「見た目が美味しいお弁当」。各自、自分で作ったお弁当を持ち寄り、一緒に食べました。中には校長先生(!)や教員が作ったお弁当もあります。どれも美味しそうですね。

この企画をきっかけに、食事に対する興味関心が増したり、毎日食事作りをしてくれる親に感謝の言葉が現れたりしました。後日、終業式にて表彰が行われました。



応募お弁当の数々

(2) 足立区江北保健センターによる調理講習

食育月間である6月に、地域の保健センターの栄養士さんから、「朝食で野菜を取る」をテーマに、調理講習をしていただきました。時間のない朝でも、冷凍野菜を使い、簡単に美味しく野菜が取れるレシピを教えてくださいました。今後、全校生徒へこの取り組みを広めていきたいです。



ケーキサレ&スープ



講習風景

(3) 交流活動

①「ハピフェス」に参加

地域の中学校と近隣住民によるお祭りに参加しました。毎年本校文化祭で、目玉商品である人気の手作りクッキーを販売しました。お祭りは多くのお客さんで賑わい、販売している生徒達も、校外での販売は今回が初めてだったので、初めは緊張した様子でしたが、持ち前の明るさで、開始2時間で完売しました。心地よい達成感を感じることができました。



販売開始前の様子



フェスティバル入口

②「子どもと遊ぼう」ボランティア

足立区女性フェスティバルの、わくわく子ども広場のスタッフとして、保育士を目指している生徒を中心に子ども好きな生徒が集まりました。当日はバルーン



来場した子どもと遊ぶ高校生

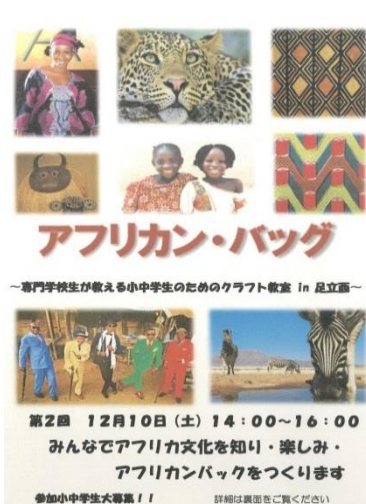
アートを一緒に作ったり、風船で遊んだりしました。子どもたちも高校生と遊んでもらい楽しそうでした。

③クラフト教室アシスタント in 足立西

小中学生が専門学校生の指導により、ものづくりを体験する教室に、足立西高校生がアシスタントとして参加しました。

世代間交流により、ともに学び小中学生がこれからの自分を考える機会とすることを目的としたクラフト教室です。地域の異校種間の連携を多様化させたイベントで、異文化理解のよい機会にもなりました。

当日は、新宿にある文化服装学院のアフリカの文化について研究している学生たちが、アフリカについて映像や楽器の演奏をしながらいろいろと説明してくれました。



今回のイベントのポスター

説明の後、アフリカをイメージした図柄を手書きし、その図柄を布にアイロンで転写し、ミシンで世界に1つだけの手作り袋を作りました。

初めてミシンを使う児童もいましたが、みんな思い思いの素敵なバッグが完成しました。保護者の皆さんも大満足。



アフリカをイメージした図案を考え描いています



ミシンで袋を作っている小学生をサポート



完成したアフリカンバッグ



参加者全員で記念写真

アシスタントをした生徒たちは、日頃は小学生や専門学校生と触れ合うことがないので、最初は戸惑っていましたが、年齢も比較的近いことが分かり、すぐに打ち解けて楽しく交流することができたと、満足した様子でした。また、アフリカに対するイメージも変わったようです。互いにとって大成功のイベントでした。

(4) 全国大会参加



第64回福島大会



第63回北海道大会

全国高等学校家庭クラブ連盟へ加入して2年目の平成27年度から、2年連続で全国研究発表大会に参加しています。全国生徒会計、副会長、会長という大役をさせていただいた生徒をはじめ、他の生徒にも、同世代の高校生による立派な研究発表の数々は、非常に刺激的で、自分の学校生活を見つめ直し、目標を持って将来の進路選択に向けて取り組むきっかけにもなりました。

4. おわりに

本校の学校家庭クラブ活動はまだ始まったばかりです。地域とのつながりを大切にし、様々な人との交流を通して、たくさんの方々笑顔に届ける架け橋に高校生がなれるように、今後も活動の幅を広げ生徒自らが考え主体的に取り組む活動へと一歩ずつステップアップしていきたいと考えています。